マイグラブできた

だいしん夏休み親子体験教室

ミズノ社員が製作指導

大垣市恵比寿町の大垣信用金庫大信ホールで8日、「だいしん夏休み親子体験教室」が行われ、小学生の親子30人が、ミズノの社員から野球のグラブ作りを学んだ。

同社が全国で展開する「1万人グラブづくり」とコラボレーションするかたちで、同金庫が地域貢献活動として開いた。

ミズノ大阪本社の企画担当、中野康浩さんが実演を交えて、専用の金具を使ったグラブのひもの通し方を指南。1、2年生グループは柔らかい豚革のグラブ作りに取り組んだ。

高学年は、硬い牛革のグラブ作りに挑戦。ボールをキャッチする網の部分など難易度の高い作業もこなし、マイグラブを完成させた。

参加した市立北小1年森本惺也君(7)は、父親とキャッチボールをしようと参加。母親の安江さん(44)は「とても楽しみにしていた。良くできたと思います」と話していた。(佐名妙予)



協力してグラブのひもを通す親子＝大垣市恵比寿町、大垣信用金庫大信ホール

無断複製・転載を禁じます